



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)5月25日号 No.1859

目次

| | |
|--|-------------|
| ■ ロシアのビジネス界とコロナワクチン接種 | Yu.ストノーギナ 1 |
| ■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応 | 5 |
| ■ 統計速報 | 16 |
| 2021年1～4月のロシアのブランド別乗用車販売台数／16 | |
| ■ 『ロシアNIS調査月報』2021年6月号のご紹介 | 17 |
| ■ エトセトラ | 18 |
| SPIEF「日露ビジネス対話」開催のご案内／18 | |
| ■ トピックス | 18 |
| 菅総理、中央アジア諸国首脳と電話会談／18 | |
| サハリン～成田便を再開／18 | |
| ロシアの第1四半期GDP1.0%減／19 | |
| 東電設計、アゼルバイジャンで再エネ計画／19 | |
| 博報堂がロシアのクリエイティブ企業を連結子会社化／19 | |

ロシアのビジネス界とコロナワクチン接種

ロシアNIS経済研究所 特別研究員

ユーリア・ストノーギナ

はじめに

ロシアにおいて初期の感染者となったのは、主に外国との交流がさかんなハイレベルの国家官僚や実業家たちであった。パンデミックが始まった2020年3～4月に、ヴェードモスチ紙がさかんに掲載していたのが、早期に罹患したビジネスマンたちの闘病記である。語られていたのは、この病気がどのような経過をたどるか、COVID-19の兆候や治療法はどんなものかということであった。

2020年8月に連邦検査医学委員会のアレクサンドル・ソロヴィヨフ議長が明言したところによれば、ロシアにおける新型コロナウイルス感染の第1波は、その大部分が、欧州諸国の高級スキークリゾートで休暇を過ごした富裕層のロシア人たちがもたらしたものだという。

このことからだけでもわかるように、グローバルに活動するビジネスマンたちにとって、ワクチン接種の問題は、交流範囲が国際的とはほど遠い一般の人々にとってよりも切実なものとなっている。そこで本稿ではロシアのビジネス界とワクチンの関係について紹介することにした。